

自治を叫びて

- 一、自治を叫びて八十年
一千健児の熱血燃えて
- 二。忍辱茲に幾星霜
戦わん哉蜻蛉の健児

五色の大旗翻し
城下に轟く関の声
今衝天の意気高し
勝ち関上ぐるは今なるぞ

アカシア薫る

- 一、アカシア薫る旗風に
深志健児燦たり我ら
守れ蜻蛉栄えある蜻蛉
- 二、蜻蛉ヶ丘の学舎に
深志健児断じて行け
守れ蜻蛉栄えある蜻蛉

古き歴史の誇りあり
我らが前に敵はなし
我らが自治の誇りあり
行け選手の意気高し

嗚呼アルプス

- 一、嗚呼アルプスの霊をうけ
かゝげし自治の光見よ
古城の下にきたえたる
- 二、嗚呼黎明の鐘はなりて
奮ひて起てる意気を見よ
鍛へし腕試みて

理想は高き若人が
伝統こゝに八十年
蜻蛉男の子よいざ立たん
血潮は高鳴る若人が
蜻蛉男の子名に恥ぢず
勝関高く掲げんかな

アルプス風吹きす荒び

- 一、アルプス風吹き荒び
臥薪嘗胆幾星霜
立て立て蜻蛉ラゝ健男児
- 二、栄えある歴史は八十年
見よ仇人の関の声
立て立て蜻蛉ラゝ健男児
- 蜻蛉の旗は高けれど
過ぎし恨みを雪ぐべし

敵何人ぞ

- 一、敵何人ぞ蜻蛉ヶ丘に
嗚呼何処にか人あらん
- 二、敵何人ぞ蜻蛉ヶ丘に
嗚呼栄光の命遂げん
- 王者の聖火照り映えば
起て我が友深志の健児
潜龍雌伏の秋去りて
行け我が友深志の健児

打てば勝つ

- 一、打てば勝つ深志の歴史は
何事ぞ身の程知らで
- 二、いざやいざ我が交友よ
何事ぞ彼らが足の
- 登る日の光に満つる
咄我に射向ふ彼ら
腕を以て守れる所
汚すままに汚さしめんや